

南海トラフ地震等の大規模地震に関する緊急時の対応について

1 南海トラフ地震に関連する情報（臨時）が発表された場合

- (1) 原則として授業などの教育活動は継続される。
- (2) 本校HPや「きずなネット」による情報に十分注意する。

2 大規模地震が発生したとき

- (1) 在宅時・・・まず身の安全を確保する。
- (2) 登下校時・・・まず身の安全を確保する。その後状況に応じて学校、自宅、避難場所へ行く。
- (3) 在校時・・・まず身の安全を確保する。その後学校の指示に従い行動する。

シェイクアウト動作（基本行動）

- ① まず姿勢を低く
- ② 頭を守り
- ③ 動かない（1分間程度）

3 学校への安否連絡

〈災害用伝言ダイヤル〉等を利用し、被災状況を必ず学校へ連絡する。

(1) 録音の仕方

「171」→「1」→「自宅の電話番号（携帯番号）」→「伝言内容（30秒以内）」

(例)「〇年〇組の江南太郎です。自分も家族も無事です。自宅は半壊し、現在△△小学校に避難しています。」

伝言の保存期間は2日間

(2) 家族や学校からの連絡を聞く（再生）

「171」→「2」→「家族：自宅の電話番号（携帯番号）」

→「学校：0587-56-3511」

4 学校再開について

学校のHP・「きずなネット」・上記3(2)の「伝言ダイヤル」等で連絡する。

ただし、交通機関・通信手段途絶などにより安全に登校できない場合は、安全が確認できるまで登校しなくてよい。